

「今年度 吉塚ゆりの樹幼稚園65歳

玄海・地島ゆりの樹幼稚園が10歳の誕生日を迎えます!

**—すべての人が心と体が健康で、謙虚で、素直で、正直で、
柔軟性と勇気を持ち、自己決断ができる人に育っていくように願って
新たな一歩を踏み出します …出発進行!!—**

学校法人 高杉学園 学園長 高杉美稚子

サクラの花も咲き始め、いよいよ平成29年度の始まりです。今年も新しい園児達とめぐり合い、保護者の方と出会い、この素晴らしい、教育の場での仲間が今、ここにめぐり合ったことに心から感謝致します。今年、吉塚ゆりの樹幼稚園が誕生して65年、また、玄海・地島ゆりの樹幼稚園は10歳、2分の一成人式を迎えます。時の流れの速さを感じずにはられません。時代が変わっても教育方針「ゆりの樹の三つの教育、三つのかわり、三つの柱・ゆりの樹の10E」を大切に今年も進んでいきたいと考えています。

★三つの教育★

- 1、共育—自立への援助として、子どもと同じ目の高さになって、同じ純粋な心をもって、子どもを取り巻く教師が、保護者がともに育つ「共育」、
- 2、響育—感動と思い出を持って心と心が響きあう、子ども同士、大人同士、子どもと大人が、それぞれが問い掛けたことがかえってくるそんな「響育」
- 3、驚育—知ることの喜びは、驚きと発見の連続を育てる「驚育」でありたいと考えます。

★三つの友達とのかわり★

- 1、「私は私」という自分の存在の確立
- 2、「私とあなた」という二者の関係、共に生きるということ
- 3、皆の中の自分という存在

★ゆりの樹幼稚園で目指す教育の三つの柱★

- 1に「真の自立への道」(個別性と共感)
- 2に「知ることの喜びを与えること」(自己成長の継続と問題解決能力)
- 3に「感動と思い出を作ること」(生命の尊重と危機管理能力)

★ゆりの樹幼稚園の10E★

エコ・エンバイロメント

常に自分の心と体の健康に気をつけること。そのためには自分の周りの物的、人的環境を整えること。愛のある言葉、夢、希望が持て、勇気が出る言葉をしっかりたべる「心のあさごはん」、そしていつも自分のことを理解してくれ、共感してくれる人を見つけておくこと、**「心のウンチ」ができる場所があることが大切です。**

エデュケーション・エモーション

エデュケーションは先に述べた、ゆりの樹の三つの教育、三つのかわり、三つの柱です。そして、その実現の為に、「ゆりの樹の10E」があります。**感情・エモーションに気づくこと**が一番大切です。自分の感情に気づかない限り、自分がどのような感情、動機に突き動かされて行動しているのか気づかない限り、自分の行動は納得できなくなるのです。感情に気づけば、自己選択、自己決定ができ、自分を承認し、自信が付き、自分に自信があるから、自他分離し、他人も自分も「これでよし」と、共感し、そこに真の自立があります。これが自他肯定です。

エンパワメント・エンターテイメント・エンジョイ・エクセレント

そうすると**人間力・エンパワメント**が増してきて、他者を理解することにもつながるし、どんな自分も受け入れることが出来るようになります。結果として、心がリラックスし、どんなことも**エンジョイして**取り組める大人に育っていくことが出来るのです。自分が楽しむれば、人間はそれを**エンターテイメントできる**のです。

自分の感情、どうしたいかに気づいて、見返りを求めずいければ、最後まであきらめなくて、伝わるまで、伝え続けることもできるようになります。それが**人生をエクセレント**にするのです。

エクステンジ

自分の根本は変えられない部分もあります。だからこそ、**少しだけ行動を変えればよいのです。少しだけ行動を変えることが、人からは違っただけに見える、人から成長したと見えるのです。だから、小さな行動ステップでよいのです。自分を客観的にみて、少しだけ行動を変えてみましょう。勇気をもって、そして、行動を変えることで、自分の中の奥底に、いつの間にか変化が起きているのです。それが成長**です。

成長のために「ゆりの樹人間像」の姿を忘れず、みんなの力を結束していきます。そのために、大きな「ゆりの樹の船」の船長として理事長と、学園長で、迅速、的確、柔軟に舵取りをし、乗組員全員の無事と卒業、人生としての卒業の日を迎える日まで、全責任をもって航行していく所存です。

これからの教育は、平成30年度の教育要領の改正、インクルーシブ教育の導入などなど、課題が山積していることから考えれば、困難なことは山積です。だからこそ、ピンチはチャンスですね。全ては、情報を収集し、見る、聞く観察力と、感じる洞察力をもって、自ら律し、考え、決断していくことが大切です。

そして、**自らを律する力** それは今私は「耐える力」だと思っています。これはやみくもに我慢するということではなく、どんな試練の中にあろうとも、そのことに振り回されず、「今できることに全力を傾ける集中力」のことだと考えます。「今日の前にあることに向き合えない人が、明日羽ばたけることはないと思います。

今を生き抜ける人に、明日が広がるのだと思います。だから、どんなことも逃げないで、どんなことも受け止めて、あえて嫌われることも恐れず、だからこそ優しく、柔軟に、対応していきたいと考えています。

そのために必要なことは

◆どんなことにも恐れず挑戦すること

やりたいことに挑戦して失うものは何か、やりたいことを何もやらずに失うものは何か、どちらが失うものが大きいのか、そして残念か、そしてもし挑戦することによって得られるものがあるとしたらどんなことがあるのか、イメージを膨らませて考えてみれば挑戦しないで、後悔するより、チャレンジして反省する人生のほうが良いと思います。

◆願いが叶う心の結びしは、まず浮かんできた「想い」と「言葉」と「行動」を意識的に合わせる練習から

実は、自分の心はいつも、自分の願いを叶えたいがっているそうです。心の奥深いところにある「ほんとうの自分」は、懸命に自分を幸せに導こうとしてくれているのです。あれこれ悩んだり、くよくよ心配したり・・・そんなふうに、心を曇らせることで情報は遮断されてしまいます。

「今、ここ」に意識を向けると自分で今なすことが見えてきます。そんな心の奥深くに問いかけることで幸せを導けます。でも「見えども観えず」と言いますが、今朝初めてあった見知らぬ人の服は覚えていますか。意識で見ているか、無意識で見過ごしてしまっているか。無意識で見過ごしてしまっていると、あまりにも勿体ないことが多々あります。そのためには・・・

◆意識してとことん実践すること、実践すると工夫が身に付く

ある程度、時間をかけて、集中力を持って何事も学ぶ・実践する。それでも時間が足りない、期限に間に合わない、クオリティが望んだところまで達しないことがあります。その結果、工夫をし、アイデアが閃き、ノウハウが本当に使えるようになるような気がします。そのような集中的に何かを行った経験があると、次に大きなピンチや大変な状況に囲まれたとしても、培ったノウハウが生かせるようになるのだと思います。

私も長い園長生活の中で、新しく始めたことは必ず反省点、失敗がいくつもあります。そして、反省点を見直す

と必ず向上します。失敗から学べば、いつか満足がいくものが完成します。そうやって失敗を積み上げて今に至る人生だったと思います。もう30年くらい前に渡部昇一さんが書かれたいたことで心に残っていることがあります。

何か一つでも井戸を深く掘った（極めた）経験がある人は、他の分野のこともイメージがしやすい。なぜなら深く井戸を掘れば、下では水の層がつながっているから。何か一つでいいから、自分の、これだけは負けないものを今年も見つけていきましょう

◆達成感や喜びを100%味わいましょう

嬉しいことが続いても、その嬉しさや喜びや楽しみを100%満喫しない前に、将来の不安を先取りしてしまうことがあります。しっかりと喜びを感じる前に不安を呼び込んだり、恐れたりするのはもったいないと思います。

喜びをしっかりと喜びと、次にちょっと大変なことがあっても、楽しい頂点も体験しているので、少しくらいではめげません。その時の、風景、懐かしい顔、元気が出る言葉、心地よい感触を思い出せば勇気を持って乗り越えられます。「**置かれた場所で咲けない人はどこに行っても自分の花を咲かせることは難しい**」と思います。

だから、今日は、このゆりの樹幼稚園で出会ったこと、ここに集えたことを、この仲間であられること、ここにいる幸せを感じることから始めましょう。

皆で乗り合わせた船「ゆりの樹号」は今、船出します。ここが最良の出発の地になるように、そしてその航路が私達と皆さんにとって意味ある素晴らしい航路になるように、皆で力を合わせていきましょう。船は一人では進めないのです。保護者の皆様、職員と手を取り合って、子ども達をともに育ててまいりましょう。皆さんの力が必要です。

